

令和元年度 指定管理施設運営状況評価表

1 施設の概要

施設の名称	下北文化会館	
指定管理者	団体名	株式会社 東京堂
	代表者	代表取締役社長 内 田 征 吾
	所在地	むつ市金谷1丁目10番1号
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
指定管理業務の概要	1. 文化会館全体の維持管理及び運営に関する業務 2. 文化芸術の振興に関する業務 3. 文化会館の使用許可に関する業務 4. 舞台設備の操作点検等に関する業務	

2 収支の状況

※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

(単位：千円)

区 分	計 画 額①	実 績 額②	増 減 (②－①)
収入合計 (A)	126,793	122,328	△4,465
うち利用料金額	28,664	24,693	△3,971
うち指定管理料	87,038	87,323	285
支出合計 (B)	126,793	121,669	△5,124
うち人件費	23,300	23,183	△117
収支差 (A－B)	0	658	658
計画書と比較した実績額の増減理由	周年事業や県大会レベルの大会等大規模の催し物が減少したことが会館利用収入の減少と直結した。状況に応じた経費削減に取り組んだ。		

3 施設利用の状況

(単位：人)

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増減 (②-①)
利用者数	下北文化会館	166, 278	151, 938	△14, 340
<p>利用者の声とその対応状況 ※ 利用者アンケートの実施 (有・無)</p> <p>(意見) 静かでもとてもよい部屋でした。半分ずつ貸出してもらえると助かります。</p> <p>(回答) ご意見ありがとうございます。相談室は、もともと健康相談を効率よく行うため、一部屋を医師等の待機場所、医療相談等を行う場所に区別した構造としています。現時点では半分にして貸出する予定はございませんのでご理解願います。</p> <p>(意見) ワイヤレスマイクについて時々途切れてスピーカーから音が出ないことがある。</p> <p>(回答) 機器等の保守点検は適宜実施しており、支障のある機器は修理等を実施していますほか、受信アンテナ位置の調整をして対処しております。ワイヤレスマイクは有線マイクと違い、使用する位置や方向により感度が悪くなる場合もありますのでご理解願います。</p> <p>(意見) 円卓での会議は良いです。ありがとうございました。</p> <p>(回答) 満足していただき安心いたしました。今後もご利用に当たり、疑問等がありましたら気兼ねなく職員にご相談くださるようお願いいたします。</p> <p>(意見) ホワイエのスピーカーが低くて聞こえない。特にステージのアナウンスが聞こえなかった。</p> <p>(回答) 大ホール利用の打合せの際に細部までご要望を伺うよう注意します。催し物の途中でお気づきの際にご一報いただけますと直ちに対応致しますので、遠慮なくお声がけください。</p> <p>(意見) マイクの使い方がやや難しかったです。</p> <p>(回答) ステージ付きの部屋のため、ステージ袖にボリューム等操作する場所がございます。初めてのお客様には立ち合い操作方法をお伝えすべきでした。 操作手順は、写真付きで分かりやすく表示しておりますが、それでも尚わからない場合は遠慮なくお声がけください。</p> <p>その他、「いつもありがとうございます」や対応に関するお礼の言葉を多数いただいております。(割愛)</p>				

4. 企画事業の実施状況について

令和元年度企画事業経費一覧

(単位：円)

No.	事業名	収入	支出
1	新作シネマ上映会 ① ドラえもん ②キングダム ③名探偵コナン	367,800	310,000
2	劇団わらび座「ジバング青春記」	1,679,300	2,659,048
3	劇団飛行船「ノantanみんなであそぼう！」	787,800	936,060
4	劇団飛行船「絵画作品展覧会」	0	0
5	スーパー銭湯アイドル「純烈」コンサート2020	3,783,061	3,587,892
6	第35回下北地区子ども会郷土芸能発表会	0	43,890
7	新作シネマ上映会映画5本 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止	3,200	915
8	第10回サークル活動発表会 SHIMOKATSU ※新型コロナウイルス感染防止のため中止	0	38,445
9	下北ジュニアウインドオーケストラ 「ありがとうコンサート」 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止	0	77,165
10	下北ジュニアウインドオーケストラ 6月～3月通常活動	2,704,850	2,627,685
合 計		9,326,011	10,281,100

5 個別項目評価

※指定管理者と下北地域広域行政事務組合が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	下行評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか	A	A
② 施設の使用許可等が適正、円滑に行われたか	A	A
③ 利用者に対する接客マナー等職員の勤務態度は適正だったか	A	A
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか	A	A
② 潜在的な利用者等に営業活動を行い、利用アピールをしたか	A	A
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い効果があったか	A	A
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取り組みがされたか	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか	A	A
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適正に行われたか	B	B
③ 労働関係法令を遵守し、適正な管理を行ったか	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等利用できるよう利用情報提供の配慮をしたか	A	A
② 日常の事故防止等の安全対策は適正であったか	A	A
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか	A	A

6 指定管理者総合評価

令和元年度の利用件数は、前年度と比較して230件の増加となったものの、具体的な利用人数は17,549人の減少となりました。人口減少という社会的要因はもとより、県大会レベルの大規模な大会、集会在減ったことが主な要因となりました。

会館資源の周知拡大については、会館ホームページやLINEなどのSNSにて下北文化会館主催事業ご案内はもとより、館内利用者が開催する催し物情報を発信する取り組みや、各部屋の案内をシリーズ化しお伝えする「下北文化会館部屋探訪」など利用者が分かりやすく親しみやすい工夫を進めた結果、新たな問い合わせや利用も生じている状況にあり、継続的な取り組みを行って参りたいと考えております。

LINEは1,500人を超える利用者にご登録をいただいております。

施設と設備の維持管理については、専門的な業務を外部に委託し維持管理を行っております。不具合が発生する可能性のあるものについては、事前に点検、整備、大規模改修については、都度報告しているところです。

収支の状況では、A重油、電気料金、LPガスの単価高騰があげられますが利用状況に併せた日々の管理を実施することにより経費圧縮できております。委託業務につきましてもは人件費の高騰で託料料金が上がっております。

企画事業につきましては、新型コロナウイルスの影響から、実施直前に中止を余儀なくされた映画上映会での収入見込みが影響しましたが、今年度より新しく取り組み始めた下北Jr. ウインドオーケストラの活動により、少額ながら定期収入にもつながっております。

職員研修については、公益財団法人音楽文化創造の研修に参加、地域音楽コーディネーターとしての資格取得の他、来年度東北公立文化施設協議会の研修会場として下北文化会館が設定されていることもあり、事前準備のためこれまで以上に公文協の研修、会議に積極的に参加致しました。

貸し館の都度、利用者へのアンケートをお願いしておりますが、今後もお客様からの具体的な意見を参考に、より利用しやすい会館運営を目指して運営してまいりたいと思います。

7 下北地域広域行政事務組合の総合評価

始めに、利用者の減少については、大規模な大会等が減少したことに合わせ、年度後半には新型コロナウイルス感染防止の対応が必要となり、例年よりも難しい面が多かったと思います。しかし、そうした状況でも感染症対策を徹底し、周知広報に努められたことで、利用者に対する影響を最小限に抑えられたのではないかと考えられます。

周知広報については、SNSやLINEを活用した情報発信に取り組んでおり、登録者数も着実に増えている状況から、今後もこうした活動を進めていき、利用者に寄り添った運営を行っていただけるよう期待します。

施設管理については、経費削減の取り組みに努めながらも、維持管理に関しては各業者と連携した結果、利用者に影響を与えるような不具合も無く、適切な維持管理がされており、今後も継続していただきたいと考えます。

企画事業については、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となった事業も数点ありますが、定期収入の確保に向けた動きも見られ、今後におきましても文化・教育等の活動を推進する複合施設として、様々な取り組みを進めていただきたいと考えています。

職員の資質向上については、先の事業等を見据えた取り組みを行っており、今後も様々な面において研修の成果を発揮していただけるよう期待します。

以上のとおり、施設のPRや利用者増に向けた取り組みを行いつつ、経費を節減に努めながら施設の維持管理を行っているものと認められます。

今後も、これまでの経験を活かしながら、利用者のニーズ把握に努め、周知広報や企画事業と言った面において様々な取り組みを進めていただき、文化芸術の向上及び健康・福祉の向上に寄与することを期待します。